

カレスサッポロ & 北海道医療大学大学院看護福祉学研究所 連携事業

主催：北海道医療大学大学院看護福祉学研究所、カレスサッポロシミュレーションセンター

共催：日本コヴィディエン株式会社

「特定行為研修とは？ 実際にPICC挿入演習しながら、特定行為について知ろう」

超高齢社会に伴い医療ニーズが急速に増大し、看護師には役割を最大限に発揮することが期待されています。厚生労働省において、看護師の業務を見直す方向で審議・検討が行われ、「特定行為に係る看護師の研修制度」が法制化されました。

本学大学院看護福祉学研究所は、厚生労働省より、特定行為研修の指定研修機関の認定を受け、平成27年10月より、研修を実施しております。今回、カレスサッポロとの連携事業として、特定行為の一つである末梢挿入中心静脈カテーテル挿入カテーテルの手技を学びながら、輸液療法における看護師の役割を考え、特定行為についての実際を学習するセミナーを開催することとなりましたので、特定行為研修にご興味のある看護師の方は、ぜひご参加ください。

日時：2016年12月17日（土）13:00～17:00

場所：カレス サッポロ クリニカル シミュレーションセンター

（札幌市中央区北1条東1丁目2番5号 カレスサッポロビル7階）

対象者：一般の看護師

参加費：無料

募集人数：35名

申込期限：2016年12月13日（火） ※ただし、定員に達し次第、締め切ります。

申し込み方法：氏名、連絡先、勤務場所を明記の上 nskyomu@hoku-iryo-u.ac.jp までお申込みください。（件名：「連携セミナー申込み」）

問い合わせ先 申込に関すること 0133-23-1211 内線2167（看護福祉学課 古林（ふるばやし））

内容に関すること 0133-23-1458（臨床看護学講座 講師 石角（いしずみ））

詳細内容に関しては裏面をご参照ください。

スケジュール

12:30～ 受付開始

13:00～14:20 講義

- ・ 輸液療法における看護師の役割
- ・ 特定行為研修における末梢挿入中心静脈カテーテル
- ・ 血管アクセスデバイスの選択
- ・ エコーガイド下のカテーテル挿入

14:20～14:40 休憩

14:40～15:40 演習（グループに分かれて）

15:40～15:50 休憩

15:50～16:50 演習（グループに分かれて）

※上腕を露出できる服装（Tシャツなど）でご参加ください。

講師：北海道医療大学大学院看護福祉学研究科 教授 塚本容子

1999年に米国Family Nurse Practitionerの資格を取得後、米国の病院にて勤務する。現在は、厚生労働省より特定行為研修の指定研修機関として認定されている本学大学院看護福祉学研究科において、特定行為研修の実施責任者として、講義・演習・実習を担当している。

